

田中昇（北海道大学名誉教授，1930--2011）の微分方程式の幾何学的考察に起源をもつ深遠な研究は「田中理論」と称されるほど世界的に有名です。田中は死の直前まで研究を続けましたが、その遺稿が彼の薫陶を受けた数学者によって整理され、Hokkaido Mathematical Journal (44号)および北海道大学数学講究録（169号，170号）に発表されました。このユニークな出版は、数学としての価値ばかりでなく、彼の数学を伝えようとする後継者たちの思いを想像することができます。北大数学教室ホームページから閲覧できます。

